

## 10

## 産学官連携日本酒プロジェクト



神都の祈りシリーズ【斎王】【御裳濯川】の販売も2年目となった今年度。昨年の経験を踏まえ、日本酒の販売をより学生が主体的に考える活動になりました。来年のお酒になる酒米の御田植え祭を5月12日を行い、稻の実りを祈願し、実際に田んぼに入れて稻を植えました。

新酒のお披露目は去年も出店させて頂いた5月27日の伊勢志摩SAKEサミットです。地元100%、地域の味を楽しんでほしいとあえて味を調節していない、「今年の神都の祈り」を楽しんでいただきました。地域の人から「気になってたの」「頑張ってね」と言って頂いたりと地域に関わるということが実感できました。

6月2日、3日は斎王まつりにも出店。明和町の方々に神都の祈りをたくさん飲んでいただきました。



御田植え祭（5月12日）

7月1日には、斎王まつりでできたご縁からおかげ横丁の朔日市に出店できることに。全国からの旅行者といことで、お酒の説明を工夫しつつ、お土産用として購入していただきました。



伊勢志摩SAKEサミット（5月27日）

活動名：産学官連携日本酒プロジェクト

メンバー数：16名

活動場所：明和町

実施主体：明和町防災企画課

担当教員：千田 良仁（教育開発センター）

活動年度：H28 H29 H30

前半の活動でメインとなったのは、東京の青山で開催されるファーマーズマーケットへの出店です。神都の祈りと明和町のPRを目的とし、メンバーで協力しあって取り組みました。目的を達成するために、お酒の販売だけでなく、神都の祈りの酒粕を使ったポテトサラダや明和町の特産物であるひじきうどんを提供しました。品目決めから価格決めなど、提供にあたりるべきことを、先生の助言を受けながら学生が全て考えて実行しました。結果、反省点は多くありますが、それによって学べたこと、学生が主体的に取り組めたことなど、良い経験ができました。

後半の活動は、刈り取った酒米の醸造に始まり、プロジェクトと神都の祈りのPR方法やマーケティングなどを考えていきます。また、クラウドファンディングにも挑戦します。

プロジェクトに関わる行政の方や酒米を作ってくださっている方から、「いっぱい失敗してほしい」と言っていただけの恵まれた環境です。いろんなことに挑戦していきたいと思います。

初めてのお酒は、神の都の味でした。

「神都の祈り」。最初からうなづいて、

経験で得た知識が活かせる機会を

得て、とてもうれしかった。

夏もくくろに、

うまくくらべて、

うまいと、

うまいと、

うまいと、

うまいと、



第3回全国高校生SBP交流フェア配布フライヤー

ファーマーズマーケット出店（7月21日）